連載・青少年健全育成シリーズ　第315回

「私の子育て観」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第１日曜日は「家庭の日」
毎月第３日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

叱るは愛情、怒るは感情

そんなこと分かっているのに、自分の感情に任せて怒ってしまう。後悔の連続。子どもが大きくなるにしたがって、親も成長し自分をコントロールする術を学ぶ。色々な人の子育てに対する意見や話を聞いて、自分の子育てに役立てる。子どもも未成熟なら同じように親も未成熟。みんな同じ。でも、子育てに答えはない。だから、一日一日を子どもと真剣に向き合って。今やらなければ後ではできない。後悔しないように。

子育ては、親の責任（親の責任の大きさと重さを理解して）

子どもの全ての行動は、親が責任を持つ。地域で子育てしましょう、なんて詭弁。子どもが犯罪を犯したときに、責任を取るのは親と本人。その他の人には責任はない。地域の人が責任を取ってくれることはない。子どもは親が責任を持って育てる以外ない。

自分の言葉で叱ってよ、お父さん・お母さん

自分以外の人を悪者にしない。「そんなことしたら、お巡りさんに逮捕されちゃうよ」「そんなことしたら、先生にいいつけるよ」「もう、パパに怒ってもらう」誰かの言葉でなく、そこにいるお母さん（お父さん）が真剣に子どものために叱ってよ。

ダメはダメ（自分の言葉に責任をもって）

子どもに対して、一度「ダメ」と制止したなら、それを覆して「良い」には絶対にしないで。

それだけ、子どもに対する決断（約束）は重いことであり、大切なこと。だからいつも真剣に考えてね。

子どもの成長は、らせん状（からだを沈めて高くジャンプするが如く）

できたり、できなかったりの繰り返し、でも次に、一度できていたことができなくなって、再びできるようになったときには一段上の段階にあがる。

親の本気の背中を子どもに見せて

話をしなくても、スキンシップをとらなくても、家族で同じ空間に長く居ることが重要。いつも、子どもの目線のなかにいることが重要。子どもには、本気の自分（親）をライブで見せて。

小さなからだには、小さな心。小さな心には、小さな経験

からだが大きくなり、大きな心になったら、大きな経験が必要（小さな経験で大きな心を満たすのは大変、容易ではない）。喜び、悲しみ、怒り、楽しみの経験、そして我慢。小さなからだの小さな心には、小さな経験で十分。たくさん経験させて。

子育ては大変だけど、その倍楽しい。だから、もっともっと子どもと本気で向き合って、一緒に泣いたり笑ったりして下さい。

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています（10,300部発行）ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課　法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月⑤9・10月⑥11・12月の６パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合せください。

広　告　掲　載　欄

広　告　掲　載　欄